

<特徴のあるホテル3>

歴史の古い宿

1 山梨県 西山温泉 慶雲館 705年創業

文武天皇の慶雲二年(西暦七〇五年)三月のこと
藤原真人が狩猟の途中、湯川のほとりにさしかかった時、岩の間より盛んに噴き出している熱湯を偶然に発見。

これが、西山温泉の起源で、慶雲年間に開湯したので慶雲館と命名された。

天平宝字二年(七五八年)には、四十六代孝謙天皇が京の都よりはるばる慶雲館にご入湯され、病気が二十日余りですっかりご全快されたとも云われている。

天文年間には甲斐国主 武田信玄公が幾度か湯を求めに訪れた。

また、日本統一のさなか、徳川家康公も二度にわたり入湯され、後に信玄公、家康公の隠し湯とも呼ばれるようになった。

幾多の歴史を重ね、時の洗礼を受けてきたもののみが持つ、本物の風格と気品をたたえ、今日も深山幽谷に温泉旅情を咲かせている。

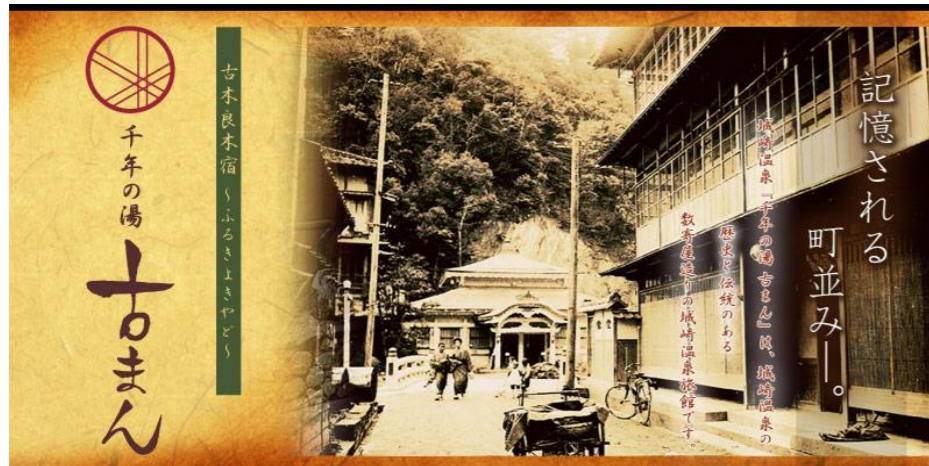


2 兵庫県 城崎温泉 千年の湯 古まん 717年創業

城崎温泉の開祖を祖先にもつ老舗宿。創業は養老元年(717年)にさかのぼる

当館の祖、日生下権守が或る夜の夢に四人の神が現われ、「自分以後此の地に住まい汝、子孫民衆を守るべし」とのお告げがあり、直ちに神祠を建て神人をお祀りした。これが街中にある四所明神である。そして此の地を開拓し代々神官を努め、城崎温泉の基盤を作りあげた。

千有余年におよぶ城崎温泉の歴史的史実をまとめた縁起書「日生下家家宝旧記」は日生下家に代々伝えられている。宿は情緒深い町並みに映える純和風木造り。城崎七湯のうち三湯が徒歩3分以内という立地。



3 石川県 粟津温泉 法師 718年創業

養老二年(奈良時代・西暦718年)の開湯以来こんこんと湧き続け、日本有数の泉質を誇る源泉が絶え間なく流れ込んでいる。約1300年前、泰澄大師が白山大権現のお告げに従い開湯したのが粟津温泉。その弟子の雅亮法師が建てた湯治宿が法師のはじまり。長い歴史の中、蓮如上人が探索を逃れる為、飯炊きに装束したり、小堀遠州が造園指導に訪問したりした。加賀藩主・前田家とも縁があり、金沢城と同様の紅壁・群青壁の使用も許された。九谷焼・芭蕉真筆の掛け軸・江戸初期の鬼瓦等の並ぶ館内、風雅な庭園に現役世界最古の宿の趣きが漂う。

<善五郎46代の歩み>

●初代善五郎。
雅亮法師として白山開祖泰澄大師に仕え、養老二年(718)、大師による粟津開湯に際し、大師の命に従い万人の難病治癒のため湯治宿法師を開く。



●十代善五郎の正暦元年(990)花山法皇、自主山厳屋寺に参詣され那谷寺と改め、以後しばしば粟津温泉・法師にてご入浴あそばさる。

●十七代善五郎の頃、源平の合戦始まる。文治三年(1187)源義経と武蔵坊弁慶『安宅の関』越え。

●四十三代の頃、桂太郎、法師に宿し延命閣にて『善吾楼』を揮毫。

●四十六代善五郎、世界で創立200年以上の由緒ある企業のみで構成する『エノキアン協会』に加盟。

●四十六代善五郎、『世界で最も歴史あるホテル』としてギネスに認定される

法師の庭園の中央に位置する延命閣は、明治時代に宮大工の手によって建てられた総檜の御殿造りの建物。鉄の釘は一本も使わずに組み上げられており、天井は格天井で高く、障子は黒ウルシ塗り、唐紙は金箔で引き手にメノウを使用。延命閣の名匠は海軍元師伊藤祐亨閣下が命名された。かつては賀陽宮殿下、三笠宮殿下、高松宮妃殿下など各皇族方の御投宿の光栄に浴した。また、映画やテレビなどにも度々撮影され、日本の伝統旅館十指中に数えられて雑誌や週刊誌等にもしばしば紹介されている。



大浴場入り口を飾る「粟津八景」の陶壁画

<新聞記事>

帝国データバンクは、4位に城崎温泉でランキングし、上位10社のうち3社が旅館経営企業となった。

3位の西山温泉慶雲館は西暦705年(慶雲2年)創業。藤原真人が発

堀・開湯し、武田信玄、徳川家康も訪れたという名湯。自然湧出する温泉をかけ流して利用する「全館源泉かけ流しの宿」として知られる。

全国に創業100年以上の企業は2万2199社。長寿トップは寺社仏閣建築の金剛組(大阪府)で、西暦578年創業。聖徳太子が四天王寺建立のため百済の国から招いた工匠が始祖とされる。2位は生け花の振興、教授を手ける池坊華道会(京都府)で西暦587

帝国データバンクは、4位に城崎温泉でランキングし、上位10社のうち3社が旅館経営企業となった。

3位の西山温泉慶雲館は西暦705年(慶雲2年)創業。藤原真人が発

堀・開湯し、武田信玄、徳川家康も訪れたという名湯。自然湧出する温泉をかけ流して利用する「全館源泉かけ流しの宿」として知られる。

全国に創業100年以上の企業は2万2199社。長寿トップは寺社仏閣建築の金剛組(大阪府)で、西暦578年創業。聖徳太子が四天王寺建立のため百済の国から招いた工匠が始祖とされる。2位は生け花の振興、教授を手ける池坊華道会(京都府)で西暦587